

令和元年 7 月 4 日
JST 理数学習推進部

グローバルサイエンスキャンパス
実施機関ご担当者・受講生 各位

グローバルサイエンスキャンパス
令和元年度 全国受講生研究発表会

資料の作成要領

1. 「エントリーシート」の作成および JST への提出について
2. 「研究成果の要約」の作成および JST への提出について
3. ポスターの作成について
4. 口頭発表用スライドの作成について

◆別紙 「評価表」

「グローバルサイエンスキャンパス全国受講生研究発表会」の趣旨は、全国の受講生の代表者が一堂に会し、日頃の研究成果を発表し、研鑽と交流を深めることにあります。

よって、本研究発表に関しては、日本学生科学賞や高校生科学技術チャレンジ(JSEC)への発表を制限するものではありません。ただし、他の科学技術コンテスト等への応募にあたっては、同じ内容の研究発表の制限等、個別のルールが設定されていますので遵守ください。なお、学術論文の二重投稿については禁止されていますのでご注意ください。

また、本研究発表会において、優れた成績を収めた受講生(口頭発表者)に対し、以下の文部科学大臣賞、科学技術振興機構理事長賞、審査委員長特別賞および優秀賞を授与することとします。(いずれの賞も共同研究者がいる場合は、共同研究者にも授与されます。)

◆文部科学大臣賞 1 件

文部科学大臣賞は、グローバルサイエンスキャンパス全国受講生研究発表会において、研究内容、口頭発表に鑑み、最も優れた成績を収めた受講生(トップ生)に授与される。

◆科学技術振興機構理事長賞 1 件

科学技術振興機構理事長賞は、グローバルサイエンスキャンパス全国受講生研究発表会において、研究内容が科学技術の発展に寄与するものであるとともに、研究への取組やポスター発表・口頭発表におけるプレゼンテーションに工夫や努力が認められることの観点から、優れた成績を収めた受講生に授与される。

◆審査委員長特別賞 1～2 件程度

審査委員長特別賞は、グローバルサイエンスキャンパスの事業趣旨に鑑み、審査委員長の判断に基づき、優れた研究成果・成績を収めた受講生に授与される。

◆優秀賞 6 件程度

優秀賞は、グローバルサイエンスキャンパス全国受講生研究発表会において、研究内容、プレゼンテーションに鑑み、優れた成績を収めた受講生に授与される。

1. 「エントリーシート」の作成および JST への提出について

(1) エントリーシートの作成について(提出用別添ファイル: ③R1(〇〇大学 発表者氏名)発表会エントリーシート【機 2】.doc 参照)

- ① エントリーシートは、1 課題あたり A4 判 1 枚で、日本語で作成してください。なお、ポスター発表を行う発表者ご自身が、研究内容について資料作成時点の情報を記載してください。
- ② エントリーシートは、ご自身の研究における、研究テーマの設定、高校での研究活動との関係性、研究の進捗状況、および先行研究との関係性などについて整理することを目的にしています。
- ③ エントリーシートは非公開ですが、審査員には事前に配布します。

エントリーシート
1. 研究テーマ
2. 研究テーマの設定
3. 高校での研究活動との関係性
4. 研究の進捗状況
5. 先行研究との関係性
など

(2) エントリーシート提出時のファイル名について

「実施機関名」と「氏名(フルネーム)」を入れてください。

例) ③R1(JST 大学 市ヶ谷太郎)発表会エントリーシート【機 2】.doc

(3) JST への提出期限(実施機関担当者経由)について

① 提出期限: 令和元年9月2日(月)17:00 厳守

② 提出先メールアドレス: gsc@jst.go.jp

(4) 実施機関担当者の方へ

実施機関のご担当者に取りまとめて、「ポスター発表テーマ&発表者」とあわせて、期日までにご提出ください。

2.「研究成果の要約」の作成および JST への提出について

(1)「研究成果の要約」の作成について

- ①要約は、日本語版、英語版の両方を作成してください。
- ②1課題あたり A4 判で日本語版1枚、英語版1枚とします(様式1-1および様式1-2参照)。
- ③要約の内容は、ポスター発表において発表を行う予定のものと実質的に同一内容としてください。

(2)様式について

1)様式1-1(日本語で作成)

※A4判で図表込み全1枚。このまま JST のホームページに掲載されます。

グローバルサイエンスキャンパスの
実施機関(大学名、プログラム名称)

研究のタイトル

研究者、所属
(高校名、学年、氏名)

1. 研究の目的と意義
2. 研究の手法
3. 結果と考察(図表等)
4. 謝辞
5. 参考文献

2) 様式1-2(英語で作成)

※A4判で図表込み全1枚。このまま JST のホームページに掲載されます。

Implementing body of Global Science Campus Program (University, Program Title)
Subject
Researchers, affiliations
1. Purpose of the study
2. Method
3. Result and discussion (Pictures and tables)
4. Acknowledgement
5. References

3) 基本フォームについて

- ①A4 判で日本語版1枚、英語版1枚とし、合計2枚となります。一つのデータにおさめる際は日本語版→英語版の順に作成ください。
- ②余白サイズは、上:30mm、下:20mm、左:25mm、右:25mm
- ③ヘッダー・フッターサイズは、ヘッダー:15mm、フッター:17.5mm
- ④10.5ポイント、1行42文字、44行、1段組を基本とします(文字数・行・文字間隔の多少の調整はOKです)。
- ⑤見出しはMSゴシック体、本文はMS明朝体とします。英語の場合は、それぞれ Arial と Century になります。
- ⑥見出しの構成と全体イメージについては、p7「様式」を参照してください。

4) 図表について

- ①図表を用いるなどしてわかりやすいものとなるように作成してください。とくに重要な図表は大きめに入れるなど、読み取りやすさを心がけてください。
- ②図表を入れる場合は、原則として、図1 ○○○○・・・と図表のタイトルを付けてください。また、今回初めて用いるオリジナルのもの以外は、すべて出典を明記してください。
- ③グラフの場合は、横軸・縦軸の単位を正しく表示してください。

(3)「研究成果の要約」提出時のファイル名について

「実施機関名」と「氏名(フルネーム)」を入れてください。

例) (JST 大学 市ヶ谷太郎)研究成果の要約.doc

(4)JST への提出期限(実施機関担当者経由)について

①提出期限:令和元年10月1日(火)17:00 厳守

②提出先メールアドレス:gsc@jst.go.jp

(5)実施機関担当者の方へ

①実施機関のご担当者が取りまとめて、期日までにご提出ください。

②各機関から提出された研究成果の要約は、全国受講生研究発表会開催前に電子データ版を各機関宛て送付します。

③『研究成果の要約集』は令和元年度全国受講生研究発表会が終了した後、JST のグローバルサイエンスキャンパス Web サイトに掲載します。

タイトル(12ポイント太字, MSゴシック、中央寄せ)

発表者名1(在学中の学校名 学年)(10. 5ポイント標準, MS明朝、中央寄せ)

担当教員(10. 5ポイント標準, MS明朝、中央寄せ)

1. 研究の目的と意義

2. 研究の手法

3. 結果と考察 (図表等)

4. 謝辞

5. 参考文献

注意: 1. 左肩のヘッダー(ポスター発表番号)は、JST 事務局で記入します。

2. 右肩のヘッダー(実施機関名)は、各機関で記入して下さい(例えば、GSC 大学など。MSゴシック、太字、16 ポイント)。

3. 同様に、様式1-2の英語版も作成してください。

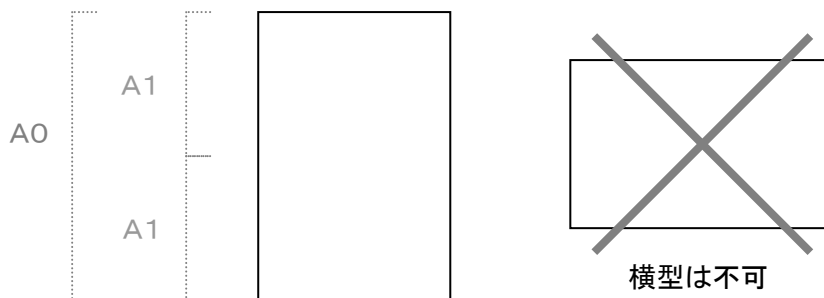
4. 英語版の右肩のヘッダー(実施機関名の英文)は、各機関で記入して下さい(例えば、GSC UNIVERSITY など。MSゴシック、大文字、太字、半角、16 ポイント)。

3. ポスターの作成について

- ・発表日時: 令和元年 11 月 16 日(土) 午後
- ・ポスター発表において優秀な成績を収めた受講生は口頭発表者(発表件数 10 件程度)として、翌日の口頭発表を行います。別紙「評価表」に基づいて審査員が評価します。

(1) 基本フォームについて

- ・ポスターは英語で作成してください。
- ・フォームは特に定めませんが、A0判 1 枚(縦型)に収めてください。
※ポスターサイズを間違えないように注意してください(最大 H2100×W850mm)。



※できるだけA0判1枚で作成してください。

(プリンターの制限等がある場合には、A1判、A2判、A4判等の組み合わせも可。)

(2) ポスターの設置について

- ①当日、各自で持参してください。
- ②発表会場で、指定されたポスターボードに設置してください。

(3) 発表方法と発表時間について

- ①発表について、発表番号の奇数グループと偶数グループが交互に発表します。奇数(偶数)番号の発表の際は偶数(奇数)番号の発表はお休みです。発表と休憩を1回のサイクルとして3回繰り返します。1回の発表は15分(発表10分、質疑応答5分)です。
- ②ポスター発表の説明や質疑応答に用いる言語は日本語あるいは英語のどちらでも可能です。指導教員に頼らず発表者自身が自らの言葉で答えるようにしてください。
※発表の詳細は、別途送付する「当日発表要項」で確認してください。

(4) 留意事項

- ①ポスター発表について、ポスターボードの前に椅子を1脚と、ポスターを貼付する画鋲を用意します。
- ②実演のための器具や作品が必要な場合には、実施機関担当者と相談して各自で手配してください。
当日持参が難しいものは、事前に会場へ送付することが可能です。送付先等の詳細については、JST 事務局までお問合せください。

4. 口頭発表用スライドの作成について

- ・発表日時: 令和元年 11 月 17 日(日) 午前
- ・口頭発表における発表時間は10分間、質疑応答は5分間程度とします。発表および質疑応答の使用言語は日本語あるいは英語のどちらでも可能です。
- ・口頭発表は壇上にて PowerPoint、マイク、ポインターを使って行います。

※ポスター発表において発表を行う受講生は全員、口頭発表者に選ばれた場合を想定して事前に PowerPoint 資料(英語)および口頭発表原稿(日本語あるいは英語)を準備しておいてください。

(1)スライド作成時の注意点について

- ①スライドデータは PowerPoint を利用して、必ず英語で作成してください。
 - ②PowerPoint 作成のためのフォーマットに指定はありませんが、必ず10分以内に発表が収まるようにスライドを作成してください。
 - ③スライドの内容は、研究成果の要約とポスター発表において発表を行う予定のものと実質的に同一内容としてください。
 - ④発表会場のスクリーンサイズ比率は 16:9 になりますので、スライドの比率を同一で設定ください。
- ※PDF データでのプレゼンテーションも可とします。

(2)スライドデータについて

- ①スライドデータは、研究発表会初日に持参してください。持参方法については、USB 等の媒体使用、または PC へのデータ移行など、直接実施機関担当者と相談してください。
- ②口頭発表者については、データ試写を含め、発表順、舞台での立ち位置、移動などについて、初日の交流会後に簡単なリハーサルを行う予定です。
- ③口頭発表を行った受講生は、研究発表会終了後に使用したスライドデータを実施機関担当者へ提出してください。

(3)実施機関担当者の方へ

- ①口頭発表で使用する PC やポインター等については、基本的に各実施機関から持参してください。
 - ②プロジェクター接続用のケーブルは、Dsub15 ピン対応です。必要に応じて(Mac を使用される場合など)、変換用のコネクタをご用意ください。
- ※会場の液晶プロジェクターで投影ができない場合、口頭発表できない可能性がありますので十分ご注意ください。
- ③口頭発表に使用したスライドデータは、後日、実施機関ご担当者が取りまとめるなどして、JST までご提出ください。

※留意事項

設営中のポスター、ポスター発表の様子、口頭発表のスライドデータおよび口頭発表の様子を、主催者および運営委託会社により写真またはビデオ撮影する場合があります。本件に関しては、受講生の個人情報、肖像権等に関しては、別途、承諾を得る予定です。

◆別紙「評価表」

グローバルサイエンスキャンパス令和元年度全国受講生研究発表会

(所属機関) 審査員:

発表 番号	
----------	--

審査のカテゴリー		観点	評価	【メモ記入欄】 審査時のメモ(発表者にはフィードバックされません)
目的・意義	研究の目的	・研究テーマの目的が明快であり、かつ自分なりの独創的な視点が含まれている。	／ 5	
	研究の背景・意義	・研究テーマの学問的・社会的意義や位置づけをよく理解できている。	／ 5	
方法・取り組み	方法	・適切な実験、観察、調査等が計画されており、方法に創意工夫が認められる。 ・(チーム研究の場合)チームメンバーの強み・個性が活かされ、分担あるいはシナジーによるプラスの効果が発揮できている。	／ 5	
	取り組み	・課題や困難な点に、粘り強く、柔軟かつ自立的に取り組んでいる。	／ 5	
結果と考察・成果	考察	・得られたデータや結果に基づき、論理的、多角的かつ深い考察ができています。	／ 5	
	成果	・新たな発見・発明や独自の研究方法の開発など、学問分野やテクノロジーあるいは社会への貢献が認められる。	／ 5	
発表	発表	・研究テーマや成果等のポイントがよく整理され、わかりやすい発表(ポスター)ができた。質問に対しても適切な対応ができた。 ・ルールに従ったポスターの書き方をしっかり踏まえている。研究倫理や生命倫理(対象分野のみ)に配慮している。	／ 5	【審査コメント記入欄】発表者にフィードバックされます。
	今後の発展性	・挑戦的な研究テーマに取り組んでいる。 ・研究の内容が独創的あるいは極めて高い水準に達している。 ・国際的に活躍する次世代の傑出した科学技術人材として期待される。	／ 5	
【5段階評価の基準(絶対評価)】 5:優れて達成している 4:やや優れて達成している 3:概ね達成している 2:やや達成が不十分 1:全く達成できていない			／ 40	